

我が国産業の現状と今後の政策の方向

産業構造審議会
新成長政策部会
部会長 吉川洋

．「イノベーションと需要の好循環に向けて」
（平成13年12月新成長政策部会報告書の概要）

．産業競争力の強化

1．貿易構造の変化と国際分業の進展

- 製造業の海外生産の増加・逆輸入の増大
- 中国の台頭（輸出構造の高度化、国内企業の躍進）
- 日本国内の雇用の減少
- 高コスト構造（人件費、電力料金、インフラ使用料）
- 各国の魅力的な事業環境整備に向けた取組（「経済特区」など）

2．政策の基本的方向

- 我が国産業の進路
- 製造業の強み・弱み
- 解決すべき課題と政府の役割
 - ・強みをさらに伸ばすための技術開発、イノベーション
 - ・経営資源の有効活用に向けた事業再構築の支援
 - ・チャレンジを支援するシステム
 - ・人材育成、教育システムの改革
 - ・予算、税制の見直し
 - ・対内直接投資を促進する魅力的な事業環境の整備
 - ・FTA等戦略的な対外経済戦略

3．各論 - 民間研究開発・投資の促進

- 民間研究開発の成熟化
- 日米の民間研究開発状況の比較と税制の役割
- 事業化に向けた研究開発・投資の問題点（「死の谷」）
- 低調な設備投資と設備ビンテージの長期化

4．各論 - 産業再編の促進

- 低い設備稼働率・高い設備過剰感
- 産業別の動向（鉄鋼・化学・半導体）
- 再編・統合など事業再構築の必要性
- 事業再構築・産業再編に向けた環境整備